学校番号	２１２

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新　社会と情報　新訂版　（実教出版）						
副教材等	３０時間でマスター　Ｗｏｒｄ＆Ｅｘｃｅｌ 2013　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんが生活する「情報社会」では、情報の獲得と選択が重要です。多くの情報を獲得し、その中から適切な情報を選択することが成功のためには不可欠です。間違った情報に惑わされず適切な情報を獲得する補法を考えましょう。また、情報社会では多くの情報を獲得するだけでなく、ＳＮＳなどの発達により情報を発信する立場にもある。情報を情報伝達の特性を考えて、情報を発信する者として、他者の気持ちを考えるようにする。
さらに、ビジネスで活用できるワープロ、表計算、プレゼンの基本的なソフトウェアの活用方法を学び、将来のビジネススキルの向上を目指します。

２　学習の到達目標

・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。
・情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
・社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
・社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしているか。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現しているか。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っているか。 評価方法	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解しているか。
評価方法	・レポート課題 ・実技課題の取組み ・授業態度、ノート	・レポート課題 ・実技課題の取組み ・授業態度、ノート	・実技課題の内容	・考査 （１学期末、２学期 末、学年末） ・小テスト（適宜）
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期(4･5月)	情報社会と私たち	情報社会 ・情報や知識についての意味を理解する。 ・情報のディジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 ・情報化の「影」について，高校生に身近な事例で理解する。	○	○		○	a:授業に興味を持って参加しようとしているか。 b:ディジタル化された情報を正しく取り扱おうとする意欲と態度が見られるか。 d:情報社会の多様性と問題点が理解できているか。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク
		情報とメディア ・情報の残存性，複製性，伝播性など情報社会における情報の特徴について理解する。 ・情報とメディアの関係，メディアの分類を理解する。 ・各表現メディアの特性について理解する。 ・マスメディアやインターネット等，情報メディアの特性を理解する。 ・記録メディア，通信メディアなど伝達メディアの特性を理解する。 ・情報の信憑性，信頼性について理解する。 ・メディアリテラシーの意味を理解する。 ・情報伝達における適切なメディアの選択について理解する。	○	○		○	a:情報やメディアの種類や構成に関心があるか。 b:情報の信憑性や信頼性について正しく判断して情報を利用できるか。 メディアリテラシーを身に付け，情報を取り扱う判断力と表現力があるか。 d:情報やメディアの特徴を理解しているか。 情報の信憑性や信頼性を理解しているか。 メディアリテラシーの概念を理解しているか。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク
		ワープロソフトの活用 ・漢字、カタカナ、英語など多様な文字を区別して入力できるようにする。 ・文書の書式を適切に変更できるようにする。 ・簡単なビジネス文書の作成を行う。	○		○		a:ワープロソフトに興味を持って参加しようとしているか。 c:漢字、カタカナ、英語など様々な種類の文字が入力できるようになる。 文書の書式を適切に変更できるようになり、簡単なビジネス文書（表を含まない）が作成できる。	実技試験 レポート 取組み状況

一学期(6・7月)	情報社会と私たち	情報モラルと社会のルール ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・個人情報の漏洩の実態，防止対策について学ぶ。 ・メールやSNSを利用する際のモラルとマナーについて学ぶ。 ・有害サイトやチェーンメール，特にスマートフォン利用の注意点を理解する。 ・知的財産権の構成について理解する。 ・産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容，及び例外規定について理解する。 ・著作権の侵害事例について理解し，著作権法を守る態度を身に付ける。 ・情報社会に係わる大切な法律について理解する。 ・自己の責任を自覚し，他者の権利を尊重する態度を身に付ける。	○	○		○	a:個人情報の保護に関心を示しているか。 著作権を侵害しないように著作物を利用する態度を身に付けているか。 b: 個人情報について考え，管理する力があるか。 知的財産権の権利の相違を判断できるか。 著作権などの侵害事例を適切に判断できるか。 著作権の例外規定を正確に判断できるか d:個人情報の概念や，個人情報保護について理解しているか。 知的財産権の体系を理解しているか。 産業財産権と著作権の種類と内容を理解しているか。 著作権の例外規定を理解しているか。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク
		ワープロソフトの活用 ・表の編集を行う ・簡易地図などの簡単な図の作成を行う ・図や表を含む複雑なビジネス文書の作成を行う。	○		○		a:ワープロソフトに興味を持って参加しようとしているか。 c: 表の編集が適切にできるか 図形描写を活用して、簡単な地図が作成できるか 複雑なビジネス文書（図や表を含む）が作成できるか	実技試験 レポート 取組み状況
二学期(8・9・10月)	情報機器とディジタル	情報機器とディジタル ・情報機器の種類と特徴，インタフェースについて学ぶ。 ・ディジタルカメラの原理や画像・映像の処理について学ぶ。	○	○		○	a:情報のディジタル化に関心があるか。 b:情報機器のインタフェースを判断して適切に接続できるか。 d:アナログとディジタルの概念とその相違を理解しているか。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク

		ディジタル表現 ・アナログとディジタルの意味について理解する。 ・ディジタル化のメリットについて理解する。 ・情報を2進数で表現することについて理解する。 ・情報量の概念と単位について理解する。 ・2進数と，10進数・16進数の相互変換ができるようにする。 ・文字のディジタル表現について理解する。 ・音声の標本化，量子化，符号化について理解する。 ・周波数・周期の関係や，標本化定理について理解する。 ・ディジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 ・画像のディジタル化の仕組みと，解像度と階調と画質の関係を理解する。 ・図形のディジタル表現について理解する。	○	○		○	a:情報量について興味を持っているか。 数値・文字・音声・画像などの情報のディジタル化に関心があるか。 b:情報量を適切な単位で表現できるか。 数値・文字・音声・画像などの情報を適切にディジタルで表現できるか。 d: 2 進数と情報量について理解しているか。 2進数・10進数・16進数の相互変換の方法を理解しているか。 数値・文字・音声・画像など，情報のディジタル化の原理を理解しているか。 音声，動画等のデータ量を計算できるか	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク
		表計算ソフトの活用 ・様々な形状の表の作成を行う ・四則計算を活用した表を作成する ・合計や平均などのよく使う関数を活用した表を作成する ・簡単なグラフを作成できるようになる。	○		○		a:表計算ソフトに興味を持って参加しようとしているか。 c: 表の書式が更できるか 関数や式を活用した表が作成できるか グラフが作成できるか	実技試験 レポート 取組み状況
二学期(11・12月)	コミュニケーションとネットワーク	コミュニケーション ・メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 ・発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・電子メール・ブログ・SNS・ライブ配信サイトなどインターネットにおける機能やサービスを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。 ・電子メールやメーリングリストを利用する時のルールとマナーを理解する。 ・電子掲示板を利用する時のルールとマナーを理解する。	○	○		○	a:コミュニケーションツールに興味を持ち、ルールとマナーを守ろうとしているか。 b: 目的に適したコミュニケーションの方法を選択できるか。 To, CC, BCC の使い分けができるか。 d:コミュニケーションの各種の分類や形態を理解しているか。 コミュニケーションツールの知識を持っているか。また、ルールやマナーの知識を持っている。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク

		ネットワーク ・回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解する。 ・パケット交換方式の長所と短所について理解する。 ・TCP/IP などプロトコルについて理解する。 ・クライアントサーバシステムについて学ぶ。 ・IP アドレスやドメインについて学び，実習で IP アドレスを確かめる。 ・WWW について学び，ブラウザで Web ページを表示する仕組みについて理解する。 ・電子メールの仕組みについて学ぶ。 ・地図情報，動画配信サービス等のインターネットサービスについて学ぶ。 ・情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解する。	○	○		○	a:インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持っているか。 b:ネットワークの通信方式の相違を判断できるか。 目的に応じて適切にインターネットのサービスを利用できるか。 d:通信方式とその相違を理解しているか。 インターネットのプロトコル及び LAN の基本知識があるか。 インターネットの基本的なサービスの内容と利用方法を理解しているか。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク
		情報セキュリティ ・コンピュータウイルスの種類や被害の状況，及びその対策について理解する。 ・情報を暗号化する方式（共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式）について理解する。 ・ディジタル署名，電子透かし，アクセス制御などセキュリティ技術の方法について理解する。 ・情報のフィルタリングについて理解する。 ・企業や組織のセキュリティ対策の必要性を理解する。 ・情報セキュリティポリシーの目的・内容や実際の事例について学ぶ。	○	○		○	a:コンピュータウイルスやサイバー犯罪の被害に遭わないように対策を立てようとしているか。 b:情報セキュリティの脅威に対する対策を正しく判断し，対処することができるか。 d:情報セキュリティ技術の知識があるか。 情報セキュリティ対策の必要性を理解しているか。	考査 小テスト レポート 取組み状況 グループワーク
		表計算ソフトの活用 ・様々な形状の表の作成を行う ・四則計算を活用した表を作成する ・仮定や表検索のような業務で活用できる関数を学習し、複雑なワークシートの作成を行う。 ・複雑なグラフを作成できるようになる。	○		○		a:表計算ソフトに興味を持って参加しようとしているか。 c: 関数が理解できるか 複雑なグラフを作成できるか 複雑なワークシートが作成できるか	実技試験 レポート 取組み状況

3学期（1・2・3月）	情報社会と問題解決	情報システムと人間 ・座席の予約やPOSなど身近な情報システムの仕組みと働きについて学ぶ。 ・行政や企業の情報システムについて学ぶ。 ・クラウドコンピューティングの概要を知る。 ・ユーザインタフェースの工夫やアクセシビリティについて事例で学ぶ。 ・情報の受け手のことを考えた情報表現やユーザビリティの工夫について考える。 ・サイバー犯罪の種類と具体例を理解し，受信者のリスクや対策について考える。 ・ディジタルデバイドなど情報社会の課題について考える。	○	○		○	a:情報社会の課題に対して関心を示し，解決に向けた提案を行うことができるか。 b:情報の受け手のことを考えた情報の表現ができるか。 d:社会における主な情報システムの種類と内容について理解しているか。 ユーザビリティやアクセシビリティに関する知識があるか。 サイバー犯罪など情報社会の課題について理解しているか。	
		プレゼンテーションソフト ・簡単なスライドショーを作成する ・スライドに様々アニメーション効果を付ける ・自分の興味関心の事象のスライドショーを作成し、プレゼン発表を行う。	○		○		a:プレゼンソフトに興味を持って参加しようとしているか。 c: コンテンツの挿入ができる。 アニメーションなど効果を付けることができる。 インターネット活用して調べ学習ができる。 自分の考えを的確な方法で表現できる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。